**2024 年 04 月（第 3 版）
*2023 年 12 月（第 2 版）

医療機器認証番号 305ADBZX00075000

機械器具 25 医療用鏡

管理医療機器　　人工開口向け単回使用内視鏡用非能動処置具（38819002）

QT アクセス®カテーテル

再使用禁止

【禁忌・禁止】

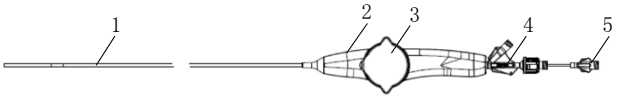
●再使用禁止
●再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

1．形状

本品はＱＴアクセスカテーテルと付属品の 9Fr シースイントロデューサセットおよびＹ字コネクタからなる。

1）ＱＴアクセスカテーテル



1	シャフト
2	ハンドル
3	回転操作部
4	Ｖコネクタ
5	小コネクタ

材質：ポリアミドエラストマー、硫酸バリウム、ABS 樹脂、SUS304、ポリカーボネート、シリコーン

2）付属品（9Fr シースイントロデューサセット）

（1）9Fr シースイントロデューサ
（三方活栓の取り外し可能なタイプがある）

材質：ナイロン系樹脂、ポリウレタン系樹脂、ポリエチレン系樹脂、FEP、ETFE、ABS、シリコーンゴム、ポリカーボネート

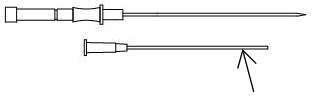
（2）ダイレータ

材質：ナイロン系樹脂、PP、FEP、ETFE、ABS

（3）ガイドワイヤ

材質：
・プラスチック（アングル、ストレート）：ポリウレタン系樹脂
・スプリング（3J）：ステンレス（PTFE コート）

（4）導入針



材質：ステンレス、ETFE

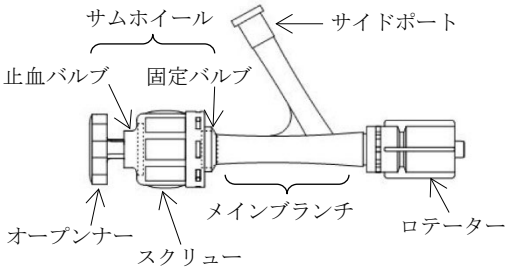
（5）シリンジ

（6）インデューサ

（7）切皮メス

材質：ステンレス

3）付属品（Ｙ字コネクタ：OKAYⅡタイプ）



材質：ポリカーボネート、シリコーンゴム

2．原理

ＱＴアクセスカテーテルは、操作ダイヤルを左右に回転することにより、操作ダイヤルとカテーテル先端をつないでいるループ状のワイヤの一方が牽引されシャフトを曲げることができる。

【使用目的又は効果】

内視鏡使用下で組織等の剥離又は薬用液の注入若しくは吸引又は管腔の探査等に用いる。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用方法等】

１．事前準備

1) 必要に応じてＱＴアクセスカテーテルの小コネクタ側に付属品のＹ字コネクタをはめる。

2) Ｙ字コネクタの片方には必要に応じて三方活栓等を取り付け、生理食塩水の注入/抜去等に使用する。

3) ＱＴアクセスカテーテルの内腔（サイズはラベルに記載）に適合する内視鏡またはファイバースコープを併用する場合は、ＱＴアクセスカテーテルのＶコネクタ側から挿入し、カメラの位置をセットしてからコネクタをロックする。［ロックの閉めすぎは内視鏡等の破損に繋がるため注意すること］

２．付属品の使用方法

1) 透明なプラスチックのケースに入った導入針を取り出し、導入針の針管の刃先がカニューラより突出していることを確認する。

2) 切皮メスにより、穿刺すべき皮膚をカットする。

3) 導入針にカニューラがセットされた状態のまま、導入針の針管先を皮膚カット部に穿刺し体内に挿入する。

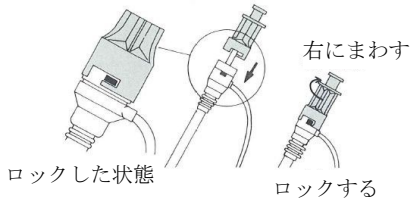
4) 導入針を抜去し、カニューラだけを残す。

5) カニューラの内腔にガイドワイヤを柔軟な部分を先にして挿入する。既にガイドワイヤにセットされているインデューサを使用すると容易に挿入できる。ガイドワイヤの先端部をインデューサ内へ戻し、インデューサの先端をカニューラ基部の内腔に差し込んでから、ガイドワイヤを押しすすめれば、カニューラ内腔へのガイドワイヤの挿入は容易である。

6) ガイドワイヤを体内に残し、カニューラを抜去する。

7) 9Fr シースにダイレータを挿入し、ダイレータハブとシースハブを確実にロックする。［ダイレータハブとシースハブがロックされていないと、シースのみが前進しシース先端が体組織に損傷を与える可能性がある］

また、ダイレータは弁の中心部を狙って挿入すること。［中心から外れたまま無理に押し込んだ場合、弁が損傷し、止血性が維持できなくなる可能性がある］



8) ダイレータの先端孔に、体内に残してあるガイドワイヤの端末を差し込み、これを介してシースを体内に挿入する。

9) ガイドワイヤおよびダイレータを同時に抜去し、シースのみ体内に残す。

３．使用方法

1) ＱＴアクセスカテーテルを 9Fr シース内腔から挿入し、体内に挿入する。または、内視鏡ワーキングチャンネル（ラベルに記載）にＱＴアクセスカテーテルを挿入し、体内に挿入する。

2) 内視鏡またはファイバースコープまたは透視装置のガイドの下、ＱＴアクセスカテーテルを目的の部位まで進める。

** 3) 内視鏡使用下で組織等の剥離または薬用液の注入若しくは吸引または管腔の探査等を行う。内視鏡不使用時は安全面を考慮し透視下で十分に確認を行いながら操作を行う。
［必要に応じて9Fr シースおよびＶコネクタのポートに三方活栓を取り付けて、生理食塩水の注入/抜去を行う］

4) 処置終了後は、ＱＴアクセスカテーテルおよび 9Fr シースを抜き取る。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

・同梱の付属品シースイントロデューサ以外を使用する場合は、本品のシャフト径φ2.9 mm より大きいサイズのシースイントロデューサを使用すること。

・併用するデバイスはφ1.1 mm 以下を使用すること。

・手動で薬液および生理食塩水を注入する際は 10 mL シリンジ以下を使用すること。

・灌流水の高吸引圧によりシャフトが閉塞することのないよう注意すること。

・内視鏡の位置合わせおよび挿入抜去は本品を体外から出した状態でおこなうこと。

・内視鏡を本品から出した状態で、体内へ挿入すると内視鏡が破損するおそれがあるため、内視鏡は本品の内側に入れた状態で使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

１．保管方法

直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

＊ ２．有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。

有効期間：滅菌後３年［自己認証（当社データ）による］

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社町田製作所

製造業者
ニプロ医工株式会社

取扱説明書を必ずご参照ください。

C0152B